

渋谷区立松濤美術館  
詩人吉増剛造展

こどものためのガイド



2018年  
8/11 (土・祝)  
▶ 9/24 (月・休)  
\*会期中に展示替えがあります  
主催：渋谷区立松濤美術館  
〒150-0064 東京都渋谷区松濤 2-14-14  
電話 03-3465-9421  
〈表紙〉「火ノ刺繍」部分 2017年 作家所蔵  
作家近影 2017年 撮影：中野愛子  
渋谷区立 松濤美術館  
THE SHOTO MUSEUM OF ART

5. いろいろな作品があるよ。



銅板打刻作品 1990-2000年 作家所蔵



火ノ刺繍 2017年 作家所蔵

「何処にもない木」という文字を紙に書く代わりに、キリとハンマーで銅の板に刻んでいます。吉増さんは、言葉を記録するために、色々な方法を試しています。

小さな字で詩を書いた紙に、上から絵具をたらしたときのあとが模様のようになります。吉増さんは、たまたまできた色の重なりも作品にしています。

☆ 詩の作りかたを自分なりに試してみよう。  
☆ 詩の作りかたを自分なりに試してみよう。  
☆ 詩の作りかたを自分なりに試してみよう。

☆ 詩の作りかたを自分なりに試してみよう ☆

＜詩の作りかた＞

＜詩の作りかた＞

＜詩の作りかた＞

キリトリ

# 1. 詩ってなに？

詩は風景を見たり、何かを経験したりした時の思いをリズムをつけて、言葉で表したものです。

詩には、俳句や短歌のように

文字の数が決まっている形の定型

詩と、音の数や文字の数に関係な

く自由な形で書かれた自由詩のふ

たつがあります。



【俳句の例】

ふる池やかわずとびこむ水のおと

松尾芭蕉

ふるいけや…

# 2. 吉増剛造ってどんなひと？

吉増剛造さんは、一九三九年（昭和十四年）に東京の

阿佐ヶ谷で生まれ、福生市で育ちました。小学校のころから詩

を作り始め、慶応義塾

大学文学部に入学して

からも、たくさんの詩

を作り続けている有名

な詩人です。



吉増剛造さん 2017年 撮影：中野愛子

# 3. 吉増さんの詩を声に出して読んでみよう！

※原文にはルビはありません。

## 朝狂って



一九六六年九月二十四朝  
ぼくは親しい友人に手紙を書いた  
原罪について  
完全犯罪と知識の絶滅法について  
アア コレワ

ぼくは詩を書く  
第一行目を書く  
彫刻刀が、朝狂って、立ちあがる  
それがぼくの正義だ！

朝焼けや乳房が美しいとはかぎらない

美が第一とはかぎらない

全音楽はウソっぱちだ！

ああ なによりも、花という、花を閉鎖して、転落することだ！

なんという、薄紅色の掌にこぼる水滴  
珈琲皿に映る乳房ヨ！  
転落デキナイヨー！  
剣の上をツツツと走ったが、消えないぞ世界！  
『黄金詩編』より

※キリスト教で最初の人間アダムとイブが神にそむいて犯した罪。

# 4. 文字は読むだけでなく見るもの？

吉増さんは自分が感じる心の

姿を言葉にして、それを文字で

書いておきます。しかし、ただ

文字を書くだけでなく、文字の

色、形、大きさなどを変えるこ

とで、言葉を読んだり、絵を見

たりするように、心の姿を人に  
伝えようとしています。



「裸のメモ」原稿（部分） 2007年 作家所蔵